

11:37 イエスが話し終わられると、ひとりのパリサイ人が、食事をいっしょにしてください、とお願いした。そこでイエスは家には行って、食卓に着かれた。

11:38 そのパリサイ人は、イエスが食事の前に、まずきよめの洗いをなさらないのを見て、驚いた。

11:39 すると、主は言われた。「なるほど、あなたがたパリサイ人は、杯や大皿の外側はきよめるが、その内側は、強奪と邪惡とでいっぱいです。

11:40 愚かな人たち。外側を造られた方は、内側も造られたではありませんか。

11:41 とにかく、うちのものを施しに用いなさい。そうすれば、いっさいが、あなたがたにとってきよいものとなります。

11:42 だが、忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、はっか、うん香、あらゆる野菜などの十分の一を納めているが、公義と神への愛とはなおざりにしています。これこそ、実行しなければならない事がらです。ただし他のほうも、なおざりにしてはいけません。

11:43 忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、会堂の上席や、市場であいさつされることが好きです。

11:44 忌まわしいことだ。あなたがたは、人目につかぬ墓のようで、その上を歩く人々も気がつかない。」

11:45 すると、ある律法の専門家が、答えて言った。「先生。そのようなことを言われることは、私たちをも侮辱することです。」
11:46 しかし、イエスは言われた。「あなたがた律法の専門家たちも忌まわしいものだ。

あなたがたは、人々には負いきれない荷物を負わせるが、自分は、その荷物に指一本もさわろうとはしない。

11:47 忌まわしいことだ。あなたがたは、預言者たちの墓を建てている。しかし、あなたがたの先祖は預言者たちを殺したのです。

11:48 そのようにして、あなたがたは、自分の先祖のしたことの証人となり、それを認めています。なぜなら、あなたがたの先祖が預言者たちを殺し、あなたがたがその墓を建てているからです。

11:49 だから、神の知恵もこう言いました。

『わたしは預言者たちや使徒たちを彼らに遣わすが、彼らは、そのうちのある者を殺し、ある者を迫害する。』

11:50 世の初めから流されたすべての預言者の血の責任を、この時代が問われるためである。

11:51 それは、アベルの血から、祭壇と神の家との間で殺されたザカリヤの血に至るまでの、(V.50 挿入) そうだ。わたしは言う。この時代はその責任を問われる。』

11:52 忌まわしいものだ。律法の専門家たち。あなたがたは、知識のかぎを持ち去り、自分もはいらず、はいるとするとする人々をも妨げたのです。」

11:53 イエスがそこを出て行かれると、律法学者、パリサイ人たちのイエスに対する激しい敵対と、いろいろのことについてのしつこい質問攻めとが始まった。

11:54 彼らは、イエスの口から出ることに、言いがかりをつけようと、ひそかに計った。

パリサイ人は外面ばかりに気を取られ、完璧であると自負していましたが、心の内側は汚れてい

ました。律法学者は多くを学んではいましたが、自ら悔い改めることはしませんでした。私たちは心を省みて、謙遜に悔い改めましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

